

蓮杖

【れんじょう】



没後百年
日本写真の
開拓者
下岡蓮杖



RENJO
A retrospective on Shimooka Renjo,
100 years after his death

東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography

2014年3月4日[火]-5月6日[火・休] [4月7日(月)に展示替えを行います]

蓮杖

没後百年
日本写真の開拓者
下岡蓮杖

【れんじょう】

2014年3月4日[火]-5月6日[火・休]
4月7日(月)に展示替えを行います

開館時間=10:00~18:00(木・金は20:00 入館は開館の30分前まで)
休館日=毎週月曜日 ※ただし4月28日、5月5日は開館
会場=東京都写真美術館 3階展示室
主催=東京都写真美術館/読売新聞社/美術館連絡協議会
協賛=ライオン/清水建設/大日本印刷/損保ジャパン/日本テレビ放送網
協力=下田商工会議所
観覧料=一般 700(560)円/学生 600(480)円/中高生・65歳以上 500(400)円
※()は20名以上の団体料金 ※東京都写真美術館友の会会員は無料
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※要3名様以上は65歳以上無料

【担当学芸員によるフロアレクチャー】
会期中第2・4金曜日14時より展示解説を行います。
2014年4/28(月)、4/29(火・祝)、5/3(土・祝)~5/6(火・休)は16時より
ゴールデンウィーク特別フロアレクチャーを行います。
(本展覧会の半券(当日消印)をお持ちの上、会場入り口にお集まりください)

【英語フロアレクチャー】
ネイティブスピーカーによる展示解説を会期中2回行います。
4月6日(日)14:00~、5月1日(木)18:00~
解説者:アリス・ゴードンカー(「ジャパンタイムズ」記者)

【Guided Tours in English】
As a special service for this exhibition, there will be two guided tours of about an hour conducted in English.
Dates: Sunday April 6, 2 pm and Thursday May 1, 6 pm.
Lecturer: Alice Gordonker, writer and researcher in Japanese photographic history. Free with purchase of regular exhibition admission.

【関連事業】
◎パネルディスカッション「下岡蓮杖〜作品とその生涯〜」
日時=4月13日(日)14:30~16:00
登壇者=森重和雄(初期写真研究家)、石黒敬章(ゆうもくらふ事務局長、日本写真芸術学会評議員)、斎藤多喜夫(写真研究家・横浜開港資料館元調査研究員)
司会=三井主司(東京都写真美術館学芸員)
会場=東京都写真美術館1階ホール
入場無料(展覧会半券をご提示ください。当日10時より受付にて整理券を配布します。番号順入場、自由席)
◎古典技法ワークショップ「デジタル写真を使った鶏卵紙プリントワークショップ」
Aコース 4月19日(土)10:00~17:00 Bコース 4月20日(日)10:00~17:00
参加者が撮影した携帯写真などを元にデジタルネガを作成し、感光性の付与から画像の焼付け・定着まで、19世紀に行われていた写真制作のプロセスを実際に体験します。詳しくはホームページ(www.syabi.com)をご覧ください。



東京都写真美術館 3階展示室

【恵比寿ガーデンプレイス内】www.syabi.com

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 TEL. 03-3280-0099

JR西新宿駅南口改札より徒歩約7分/東京メトロ日比谷線西新宿駅より徒歩約10分。
当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

日本の写真を開拓した下岡蓮杖(1823~1914)は、絵師・狩野董川門下の生活で写真と出会い、写真師となりました。「蓮杖」の名は師の「董(蓮根の意)」に由来します。ここから写真師・蓮杖の土台が絵師としての誇りだったと読みとれます。苦心の末、写真術を獲得し横浜で隆盛を極めますが、妻の死を期に絵師へと戻ります。晩年の絵画作品には「写真元祖」の印を用いており、写真と絵画の往来が蓮杖の礎となったのです。本展は、最も体系的に記された口述筆記である「写真事歴」(山口才一郎筆記、明治27年、写真新報社)を軸に、写真・絵画・工芸品などの実作品と資料によって、日本の初期写真史において最も重要な写真師の一人である下岡蓮杖を振り返る大回顧展です。



《蓮杖の火もらい》陶製
制作年不詳 小川進コレクション



《徳川家康像》石版画 明治四(1871)年頃
前田正隆氏寄贈・横浜開港資料館蔵(後期のみ展示)



《琴棋園図屏風》紙本着彩・四曲半双 大正三(1914)年 神奈川県立近代美術館蔵



《(園で囲碁を打つ二人)》鶏卵紙 文久三~明治九(1863-1876)年頃
東京都写真美術館蔵(前期のみ展示)

【巡回予定】静岡県立美術館 6月10日(火)~7月21日(月・祝)

裏面《梅の枝を活ける女性》鶏卵紙 文久三~明治九(1863-1876)年頃 東京都写真美術館蔵(後期のみ展示)